

# 平成30年度倫理委員会課題審査結果

【審査年月日】平成30年8月6日(月)

| 番号 | 課題名                                | 代表者名  | 申請者   | 審査を希望する理由  | 判定 |
|----|------------------------------------|-------|-------|--|----|
| 1  | 特発性脊柱側弯症患者のQOLと支援に関する研究            | 両角 直樹 | 両角 直樹 | 人を対象とした医学系研究に該当し、研究の科学的合理性の確保ならびに研究対象者の人権保護が十分であるか検討する必要があるため。   | 承認 |
| 2  | 認知症性疾患の臨床症候の神経基盤と予後についての研究         | 馬場 徹  | 馬場 徹  | 本研究に関するデータの取得、解析および学術集会、学術論文における公開を役割として、共同担当者に国立病院機構仙台西多賀病院神経内科の大泉英樹、吉岡勝、高橋俊明、田中洋康、谷口さやか、杉村容子、大城咲が加わることおよび、多施設共同研究への変更に伴って、東北医科薬科大学老年神経内科学准教授の藤盛寿一、京都大学こころの未来研究センター特定准教授の阿部修士、東北大学病院高次脳機能障害科教授の鈴木匡子・医師の斎藤由美子・川上暢子・大学院生の親富祖まりえ、が新たに加わること、認知機能検査の軽微な変更に関して再審査を希望する。 | 承認 |
| 3  | パーキンソン病、レビー小体型認知症における早期診断・確定診断法の研究 | 大泉 英樹 | 大泉 英樹 | 患者を対象として、通常の診療を超えた侵襲的な方法を用いる医学系研究であるため、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って倫理審査を希望する。  | 承認 |